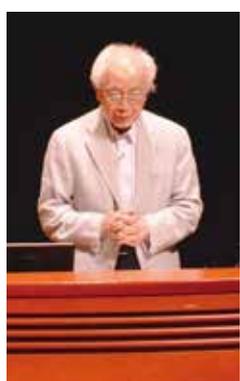


地域連携センター

NEWS

2017.07
tel 026-295-1325
chiiki@seisen-jc.ac.jp

平成29年度特別講演会 地域の「ケアの文化」を支える



地域連携センターでは、地域の皆さまにタイムリーなテーマを講演の形でお届けし、ともに地域の未来を考え、地域に根ざした大学の在り方を問うことを続けています。

今回は柳田邦男先生をお迎えし、5月28日、若里市民文化ホールで「こころ豊かに生きるとは、人は物語を生きている」と題してご講演をいただきました、約500人

平成28年度ボランティア活動実績

イベント名	実施日	人数
ACパルセイトップチーム第4節	4/10	2
長野マラソン大会運営ボランティア	4/17	24
長野マラソン視覚障がい者の部	4/17	3
長野車いすマラソン大会	4/17	7
はっとバル暮らしと健康の博覧会	4/23・24	4
信州プレイングオリアーズ	4/23・24	3
ACパルセイトレディース第6節	4/30	2
ACパルセイトップチーム第7節	5/1	1
子宮頸がん啓発(愛は子宮を救う)	5/15	4
ACパルセイトレディース第9節	5/15	2
グループホーム太陽まゆみだの家	5/20	3
須坂市ニュースポーツフェスティバル	5/22	1
長野地区障がい者スポーツ大会	5/28	4
長野市障がい者スポーツ大会	5/29	1
ACパルセイトップチーム第11節	5/29	1
関東甲信越フリースタイルホッケー競技会	6/3・4	1
信州ライポ隊 警察大学生	通年	3
臥竜山ウォークラリー	6/4	6
長野市民病院 ふれ愛デー	6/4	1
全国植樹祭	6/5	11
映画上映会(植樹祭応援イベント)	6/5	3
博愛の園 博愛青空市	6/11	1
みどりの自転車 整備	6/15	4
小布施町チェリーキッス(収穫祭)	6/18	22
ハピスポひろば(ビックハット)	6/19	4
森と木 創業祭	6/25	1
交通安全イベント 長野自動車学校	6/25	3
ACパルセイトナでこカップ第4節	6/25	5
参議院議員選挙街頭啓発	7/8	7
ACパルセイトップチーム第16節	7/10	2
ACパルセイトップチーム第17節	7/16	3
小布施見にマラソン	7/17	6
わかつきジュニア体験広場	7/24	6
ACパルセイトップチーム第19節	7/31	2
東長野病院 チャレンジ入院	8/5	4
長野びんずる祭り	8/6	1
しいのみ学園 納涼祭	8/6	2
ちゃれんじ親子の会	8/8	2
信州こども食堂	8/20	1
ながの紙芝居まつり	8/27	18
震災ボランティア	9/2~5	1
スーパーウィークエンド2016	9/3・4	2
ごん太祭り	9/4	1
ACパルセイトレディース第12節	9/10	2
北しなの線開業1周年記念イベント	9/11	2
ACパルセイトップチーム第21節	9/11	1
稲田神社秋祭り	9/21	5
のびる祭り	10/1	1
表参道秋祭り	10/2	3
ACパルセイトレディース第15節	10/2	2
尚和寮祭り	10/15	2
秋桜祭(しいのみ療護園・室賀の里)	10/15・16	1
キッズ造形フェスタ	10/16	1
ACパルセイトレディース第25節	10/16	2
全日本スピードスケート選手権大会	10/21~23	3
ハロウィーンストリート	10/23	9
長野養護学校スポーツ交流会	10/26	5
ながのキッズカルチャー	10/30	11
りんご祭り(アルクマ着ぐるみ)	10/30	1
ACパルセイトップチーム第27節	10/30	2
南木曾町災害復興	10/30	7
ながのオレンジリボンたすきリレー	11/3	4
千曲川マルシェ	11/5	7
ワールドカップスピードスケート大会	11/17~20	6
ACパルセイトップチーム第30節	11/20	2
犯罪被害者週間広報活動(日)	11/25	2
2016 外国人健診	12/4	6
犯罪被害者週間広報活動(月)	12/1	3
全日本スプリントスピードスケート大会	12/28・29	7
ながの環境団体大集合2017	1/29	5
ちゃれんじ親子の会	2/25	4
長野駅コンコースイベント	2/5	4
長野灯明まつり	2/11,12,18	6
エムウェーブスピードスケート競技会	2/17~19	7
東長野病院 ドレスパーティー	3/15	6
放課後子どもプラン 千曲市	通年	5
放課後子どもプラン 長野市	通年	14
学習チャーター	通年	3
合計(延べ参加学生数)		334

の方がお越しくださいました。柳田先生は記者として、被爆者問題、災害などの報道に携わり、その後、作家、ジャーナリストとして、多くの問題についてドキュメンタリー作品や評論を世に発信し、近年は終末期医療や死生観、在宅医療に焦点を移され、それらの問題追究ばかりでなく、人々の心豊かな暮らしや、安心して子育てのできるまちづくり、地域再生などをさまざまな形で訴えておられます。

講演の中で、一人の若い母親との出会いが紹介されました。難病の幼い子どもを持つ母親が、我が子を抱きしめることすらできずにいる時に、病棟で見かけた同じように病児を抱え看



みの中にあっても、苦難の中で気づきを得ることができるといことを教えていただきました。

人は誰でも自分の人生を振り返ってみると山あり谷あり、その中でそれぞれの物語を生きているという意味が伝わってくる講演でした。

病に疲れ果てていたほかの母親を少しでも休ませてあげようと子守りを申し出てその子を預かり、自分が見ず知らずの人の役に立つことができるとふと気づいたそうです。残念ながら我が子は亡くなってしまいました。人々のために役立つことができたなら自分自身は生かされると感じたこと、そして、その経験を支えとし現在は病児を一時的に預かるボランティアを立ち上げ活動しているということでした。

人は災害や病気で愛する人を失ったり、仕事を失ったり、悲し

こども食堂 『丘の上レストラン 清泉』開催

子どもの居場所づくりと子育て世代の応援、フード・ロスの削減を目的とした第1回こども食堂『丘の上レストラン 清泉』を、6月4日に1日限定で開催しました。



公開講座「食文化と地域貢献」の講師であるクッキングコーディネーターの浜のみさんがメニューをプロデュースし、同講座の一般市民受講生が調理を担当。その料理を、当日参加したお子さんや保護者の方に無料で提供しました。未就学児からおじいちゃんおばあちゃんまで、参加者と受講生の約80人が賑やかにおいしい料理を堪能し、会話も楽しみました。

地元信州の旬の食材を生かした彩り豊かなメニューは好評で、家族と参加した小学2年生の女の子は「何から食べたらいいか迷っちゃう」と目を輝かせました。また、あるお母さんは「想像していた以上においしい料理とゆつたりとした空間に、久しぶりに外食



さまざまな世代が集まる交流の場に

気分を味わえました」とリフレックスしていただけたようでした。食前には、折り紙の箸置き作りや、本学学生による小学生の学習サポート、そして食後は学生と一般市民ボランティアによるバルーンアートのプレゼントも企画し、世代間交流の場となりました。

今年度は、こども食堂を計6回不定期開催し、来年度以降も継続して取り組む予定です。地域連携センターでは、大学が拠点となり学生と地域社会が丸ごと次世代の担い手を健全に育む事業を推進してまいります。